



国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

2022年10月26日

国連世界観光機関 (UNWTO) 世界観光指標 (World Tourism Barometer) 2022年9月号について

本報道発表の原文(英語)は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文(英語)は、下記リンクにて抄録(無償)

及び全文(有償)をご覧いただけます。 <https://www.e-unwto.org/>

2022年1月～7月、国際観光はパンデミック前の水準の60%まで回復

2022年9月26日

マドリッド

国際観光は引き続き力強い回復の兆しを示し、2022年の最初の7か月において、国際観光客到着数はパンデミック前の水準の57%に達した。

最新の**国連世界観光機関 (UNWTO) 世界観光指標**によると、2022年1月～7月の国際観光客到着数は、2021年同期比で約3倍増(+172%)となった。これは、**観光セクターがパンデミック前の水準の60%近くまで回復した**ことを意味する。この堅調な回復は、国際観光に対する強い繰延需要と、観光を目的とする渡航に対する制限(以下「渡航制限」という。)の、緩和又は解除を反映している。(2022年9月19日時点で、86か国が新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関連する渡航制限を課していない。)

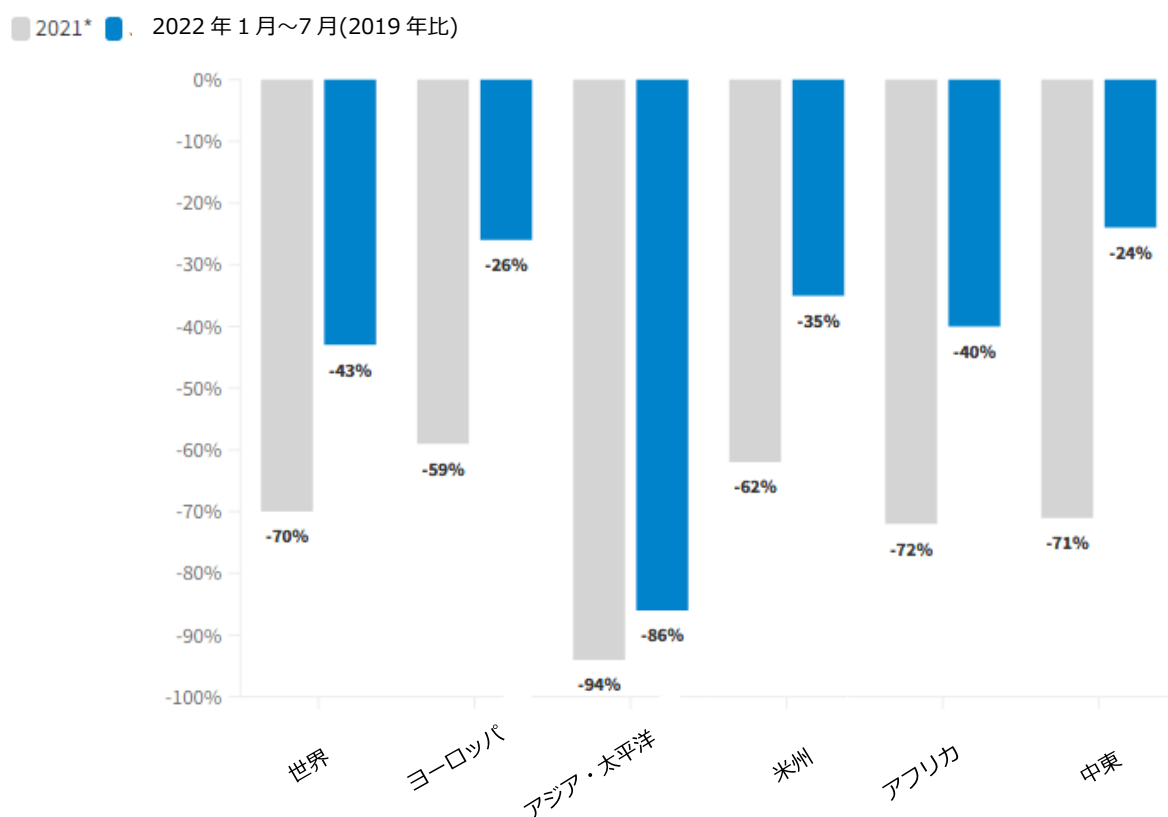
World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

UNWTO ズラブ・ポロリカシュヴィリ事務局長は、「地政学的課題から経済的課題に至るまで、いくつかの課題が残っていますが、観光は堅調に回復し続けています。観光セクターは、世界中の人々に希望と機会を取り戻しています。今こそ、観光の将来と、それが人々と地球にどのような影響を与えるのかを再考する時です。」と述べた。

2021年1月～7月には国際観光客到着数が1億7,500万人であったのに対して、今年の同時期には国際観光客到着数が約4億7,400万人となった。2022年6月と7月の国際観光客到着数は約2億700万人となり、昨年と同じ2か月間の2倍以上となった。この2か月は、2022年の最初の7か月間の国際観光客到着数の合計の44%を占める。ヨーロッパでは、このうち3億900万人の国際観光客到着数となり、全体の65%を占めた。

国際観光客到着数



出典：国連世界観光機関(UNWTO) *2019年比(暫定データ)
2022年9月 UNWTO による収集データ。2022年9月26日出版。

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

ヨーロッパと中東が回復を牽引

ヨーロッパと中東は 2022 年 1 月～7 月に最も早い回復を示し、国際観光客到着数はそれぞれ 2019 年の水準の 74%と 76%に達した。ヨーロッパは、昨年同時期のほぼ 3 倍の国際観光客到着数(+190%)となったが、これはヨーロッパ域内の高い需要と米国からの渡航によって押し上げられた結果である。特に、6 月(2019 年比 -21%)と 7 月(-16%)は夏季の繁忙期を反映し、特に堅調な結果となった。国際観光客到着数は 7 月に 2019 年の水準の約 85%に達し、多くの国・地域における渡航制限の解除も、これらの結果に拍車をかけた。(2022 年 9 月 19 日時点で、ヨーロッパの 44 か国で COVID-19 に関連する渡航制限が課せられていない。)

中東においては国際観光客到着数が、2022 年 1 月～7 月に前年同期比で約 4 倍(+287%)となった。7 月には、到着数がパンデミック前の水準を上回った(+3%)が、これはサウジアラビアにおけるハッジ(イスラム教の巡礼)による異例の結果(+121%)に後押しされたものである。

米州(+103%)とアフリカ(+171%)の国際観光客到着数も、2022 年 1 月～7 月には前年同期比で力強い成長を記録し、それぞれ 2019 年の水準の 65%と 60%に達した。アジア・太平洋においては、2022 年の最初の 7 か月間に前年同月比で 2 倍以上(+165%)となったが、一部の国で不要な旅行に対して国境を閉ざしていたため、依然として 2019 年の水準を 86%下回っていた。

準地域と国・地域

一部の準地域においては、2022 年 1 月～7 月の国際観光客到着数がパンデミック前の水準の 70%～85%に達した。南・地中海ヨーロッパ(2019 年比-15%)、カリブ海(-18%)及び中央アメリカ(-20%)においては、2019 年の水準に向けて最も早い回復を示した。西ヨーロッパ(-26%)及び北ヨーロッパ(-27%)も力強い結果とな

った。7月の国際観光客到着数は、カリブ海(-5%)、南・地中海ヨーロッパ(-6%)及び中央アメリカ(-8%)において、パンデミック前の水準に近づいた。

2022年の最初の5か月～7か月間の国際観光客到着数に関するデータを報告した国・地域のうち、パンデミック前の水準を超えた国・地域は、米領バージン諸島(2019年比+32%)、アルバニア(+19%)、サンマルタン(+15%)、エチオピア及びホンジュラス(いずれも+13%)、アンドラ(+10%)、プエルトリコ(+7%)、アラブ首長国連邦及びドミニカ共和国(いずれも+3%)、サンマリノ及びエルサルバドル(いずれも+1%)並びにキュラソー(+0%)であった。

2022年の最初の5か月～7か月間の国際観光収入に関するデータを報告した国・地域のうち、セルビア(+73%)、スーダン(+64%)、ルーマニア(+43%)、アルバニア(+32%)、北マケドニア(+24%)、パキスタン(+18%)、トルコ、バングラデシュ及びラトビア(いずれも+12%)、メキシコ及びポルトガル(いずれも+8%)、ケニア(+5%)並びにコロンビア(+2%)は、いずれも2022年1月～7月にパンデミック前の水準を上回った。

観光支出は増加するものの、課題は増加

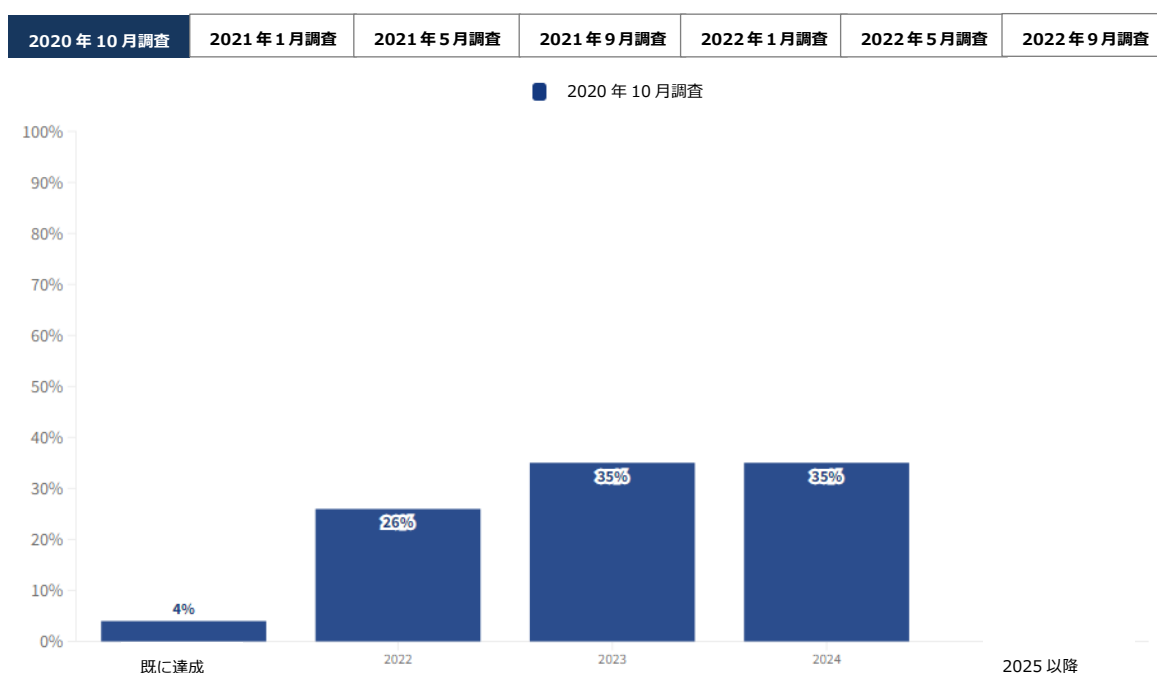
主要なソースマーケット(送客市場)からの国際観光支出においても、継続的な回復が見られる。2022年1月～7月のフランスからの支出は、2019年同期比で-12%まで回復し、ドイツからの支出は-14%まで回復した。イタリアにおいては-23%、米国で-26%となった。

国際航空運送協会(IATA)によると、国際旅客航空輸送は2022年1月～7月に234%増(2019年比で45%減)、7月にはパンデミック前の渡航水準の約70%まで回復し、堅調な結果が見られた。

予想を上回る強い需要は、観光関連事業者やインフラ、特に空港において、業務や労働力面での重大な課題を生み出している。また、ロシア連邦によるウクライナ侵攻で悪化した経済情勢は、国際観光の回復にとって大きな下振れリスクとなっている。すべての主要経済国・地域における金利の上昇、エネルギーと食料価格の上昇、世界銀行が指摘する世界的な景気後退の見通しの高まりが重なり、2022 年中と2023 年における国際観光の回復にとって大きな脅威となっている。国際観光の回復が減速する可能性については、より慎重な見通しを反映している最新の UNWTO 信頼度指数や、成長の鈍化の兆しを見せている予約動向にも示されている。

観光の専門家は慎重になりつつも、自信を持っている

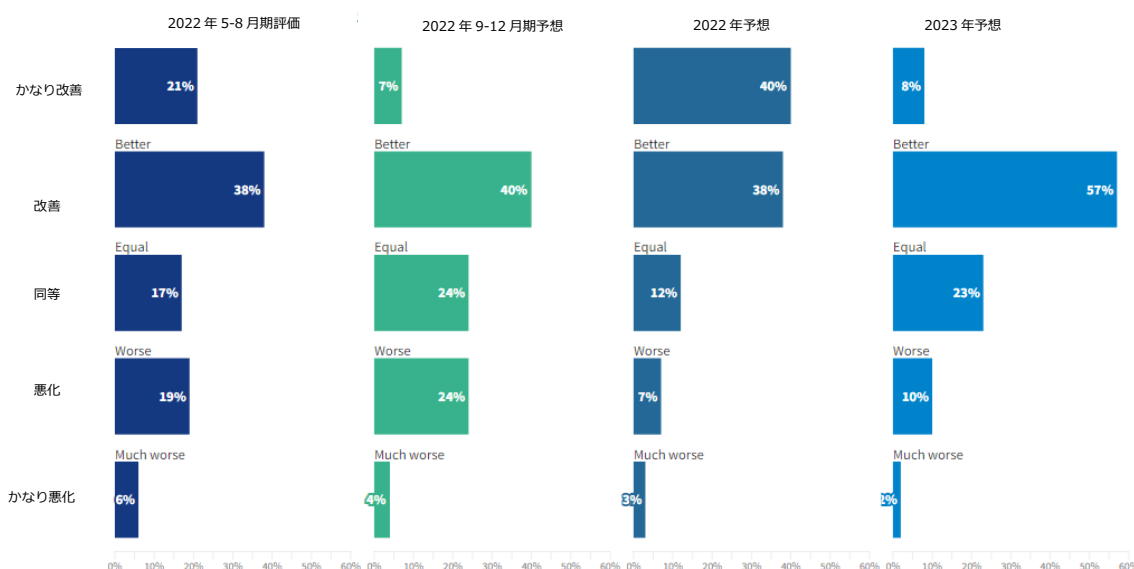
UNWTO 観光専門家委員会は、観光信頼度指数を 0 点～200 点までの範囲で評価し、2022 年 5 月～8 月期を 125 点と評価した。これは同じ 4 か月間に関する 5 月の調査で委員会が表明した強気の予測(124 点)と一致した。



UNWTO は、COVID-19 による観光への影響及び予想回復時期に関して、UNWTO 観光専門家委員を対象に世界的な調査を実施した。2022 年 9 月 UNWTO による収集データ。2022 年 9 月 26 日出版。

今年中の見通しは、慎重ながらも楽観的である。平均以上の結果が期待されているが、専門家は2022年9月～12月の期間を111点と評価し、それより前の4か月間の評価である125点を下回り、信頼度の低下を示している。2022年9月～12月までの期間について同委員の約半数(47%)が肯定的な見通しを示している一方で24%の専門家は特に変化がないと考えており、28%は悪化する可能性があると考えている。また、65%の専門家は、2023年には2022年よりも観光の状況が改善すると見ており、2023年に関しては自信を持っているようである。

しかしながら、不確実な経済環境は、近い将来にパンデミック前の水準に戻るだろうという見通しを覆したようである。約61%の専門家が、国際観光客到着数が2019年の水準に戻るのには、2024年以降になると見ており、2023年になると見ている専門家は、5月の調査(48%)と比較すると減少した(27%)。専門家によると、経済環境が引き続き国際観光の回復を妨げる主な要因である。インフレ率の上昇と原油価格の高騰は、宿泊施設と交通機関の価格上昇を招くと同時に、消費者の購買力と貯蓄を圧迫している。



UNWTOは、COVID-19による観光への影響及び予想回復時期に関して、UNWTO観光専門家委員を対象に世界的な調査を実施した。2022年9月 UNWTOによる収集データ。2022年9月26日出版。

関連リンク:

- [世界観光指標\(PPT 版\)](#)



- [世界観光指標 | Vol. 20・第5版・2022年9月抄録](#)



○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)とは
UNWTO 世界観光指標 (「バロメーター」) は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所では、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関 (UNWTO) について

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所は、UNWTO の地域事務所として、1995年に設立されました。同事務所ではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

●お問い合わせ先(UNWTO 本部; メディア専用窓口)

E-mail: comm@unwto.org

Tel: (+34) 91 567 8100

※メディアの方は本部へ直接、英語でお問合せください。

お問い合わせ方法につきご質問がある方は

UNWTO 駐日事務所までご連絡ください。

○一般のお問合せ先

国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所
(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当: 吉田

電話: 0742-30-3880

E-mail: info@unwto-ap.org

I-3883 Email: info@unwto-ap.org